

令和5年度

病虫害発生予察情報 第11号

6月月報

北海道病虫害防除所 令和5年(2023年)7月19日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

一南から暖かい空気が流れ込みやすく、歴代1位の記録的な高温。

各地で6月の月平均気温の極値を更新。一

6月は、南から暖かい空気が流れ込みやすく、また、中旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、全道的に記録的な高温となった。北海道地方の月平均気温の平年差はかなり高く、1946年の統計開始以降、日本海側と太平洋側ともに高い方から第1位の記録となった。

上旬：低気圧や湿った空気の流入により、曇りや雨の降った日が多かった。2日から3日にかけて、北海道付近を低気圧が発達しながら通過したため、オホーツク海側を中心に降水量が多くなった所があった。このため、降水量は北海道地方及び日本海側とオホーツク海側でかなり多く、太平洋側で多かった。日照時間は、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で少なかった。低気圧の通過後に寒気の影響を受けた日もあったが、低気圧に向かって、南から暖かい空気が流れ込んだ日が多かったため、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で高く、太平洋側でかなり高かった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間は北海道地方と太平洋側で多く、日本海側とオホーツク海側でかなり多かった。降水量は全道的に少なかった。また、暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温はかなり高かった。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間は全道的に多かった。30日から7月1日にかけて、北海道の南岸を低気圧が通過したため、日本海側を中心に降水量が多くなった所があった。このため、日本海側では降水量はかなり多かった。また、日本の東の高気圧の縁を通過して、南から暖かい空気が流れ込んだ日もあったため、全道的に気温はかなり高かった。特に、太平洋側では、1946年の統計開始以降、6月下旬として高い方から第1位の記録となった。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+2.5	か高	126	多	117	多
日本海側10 地点平均	+2.2	か高	149	多	114	多
オホーツク海側4 地点平均	+2.8	か高	126	多	129	多
太平洋側8 地点平均	+2.7	か高	97	並	116	多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病虫害発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. いもち病（葉いもち） 発生期（取り置き苗） 早 <7月13日付け注意報第3号>

予察田の「きらら397」における取り置き苗（接種）及び本田での初発期は、岩見沢市、比布町及び北斗市とも平年より早かった。

予察田におけるいもち病の発生状況

地点	品種名	取り置き苗初発期		本田初発期		平年数
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	6月15日	6月26日	7月10日	7月20日	10
	ななつぼし	6月14日	6月26日	7月4日	7月18日	10
比布町	きらら397	6月13日	6月24日	7月6日	7月14日	10
	ななつぼし	6月12日	6月26日	7月5日	7月14日	7
北斗市	きらら397	6月12日	6月21日	6月15日	7月15日	9

注) 各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

葉いもち発生予測システム「BLASTAM」(プラスタム)の利用方法

BLASTAMは、アメダスの気象データ（気温・降雨・風速・日照）を利用して、いもち病の感染が起こりやすい日（感染好適日・準感染好適日）を推定するものです。

感染のおよそ1週間後頃から、葉いもち病斑が見えるようになります。好適日から約1週間後に、水田内での葉いもちの観察を行きましょう。



BLASTAM予測結果は防除所のホームページで確認できます！！

2. ヒメトビウンカ（第1回） 発生量 少

予察田の畦畔における成虫すくい取り数は北斗市で平年よりやや少なく、長沼町及び比布町では平年より少なかった。

ヒメトビウンカ成虫の予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2.5	2.9	5.0	35.8	5.0	2.8
2半旬	0	1.2	25.0	31.3	0	1.3
3半旬	0	1.9	5.0	8.3	0	1.3
4半旬	0	0.5	0	2.8	0	0
5半旬	0	0.3	0	0.6	0	0.3
6半旬	2.5	0.1	0	1.5	0	0
平年数	10		10		10	

3. イネドロオイムシ 発定期 やや遅 発生量 やや少

予察田における産卵初発期は、長沼町で平年並、北斗市では平年よりやや遅かった。比布町では産卵が認められていない。幼虫初発期は長沼町で平年並、比布町及び北斗市では平年よりやや遅かった。

卵塊数および幼虫の発生量は長沼町で平年並、比布町及び北斗市では平年より少なかった。

一般田における6月6半旬の巡回調査では空知地方の2地点及び渡島の1地点において卵塊が認められたものの、要防除水準（2卵塊/株）に達した地点はなかった。

予察田におけるイネドロオイムシの初発期

	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
産卵	6.II	6.II	-	6.IV	6.III	6.II
幼虫	6.IV	6.IV	6.VI	6.V	6.V	6.IV
平年数	10		10		10	

予察田におけるイネドロオイムシの発生状況

月・半旬	卵塊数(25株あたり)						幼虫数(25株あたり)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.5	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	7.6	0	1.1	0	1.5	0	2.6	0	0	0	0
3半旬	3	11.3	0	4.1	0	3.6	0	15.9	0	1.3	0	1.7
4半旬	14	14.2	0	4.0	0	4.9	19	28.5	0	15.9	0	8.2
5半旬	24	17.8	0	3.0	0	5.5	55	53.4	0	29.6	0	18.4
6半旬	28	18.2	0	1.9	0	2.7	94	72.9	0	28.7	0	47.2
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるイネドロオイムシの卵塊数及び幼虫数(25株あたり)

普及センター	地点数	卵塊				幼虫			
		6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
空知	本所	6	6.5	0	0.3	0.4	19.8	21.3	
	南東部	2	0	0	0	0	0	0	
	南西部	3	0	0	0	0	0	0	
	中空知	4	1.3	0	0	0	5.0	0.3	
	北空知	7	0.9	1.3	0.4	0.4	8.6	4.3	
石狩	本所	3	0	0	0	0	0	0	
	北部	7	0	0	0	0	0	0	
後志	本所	4	0.8	0	0	0	0	0	
胆振	東胆振	4	0	0	0	0	0	0	
日高	西部	2	0	0	0	0	0	0	
		2	0	0	0	0	0	0	
渡島	本所	1	0	0	1.0	0	2.0	1.0	
		2	0	0	0	2.5	0	1.5	
檜山	本所	2	0	0	0	0	0	0	
		2	0	0	0	0	0	0	
上川	本所	7	0	0	0	0	0	0	
		3	0	0	0	0	0	0	
		4	0	0	0	0	0	0	
		3	0	0	0	0	0	0	
		3	0	0	0	0	0	0	
留萌	本所	4	0	0	0	0	0	0	
		2	0	0	0	0	0	0	

4. アカヒゲホソミドリカスミカメ(第1回) 発生期 早 発生量 並

予察田の畦畔におけるすくい取りによる成虫初発期は、長沼町、比布町及び北斗市で平年より早かった。

予察灯による成虫の誘殺数は、長沼町及び北斗市で平年より多く、比布町では平年並であった。予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、北斗市で平年より多く、比布町で平年並、長沼町では平年より少なかった。

巡回調査では、多発生の目安となる畦畔すくい取り捕獲数5頭(第1回発生期)に達した地点は、空知地方の1地点であった。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯誘殺数および予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	予察灯誘殺数						畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	1	0.6	0	2.4	0	0.9	0	4.5	0	0	0	0.3
2半旬	1	2.6	1	2.2	13	0.5	3.8	7.1	5.0	2.8	0	1.5
3半旬	1	10.3	9	2.9	8	2.4	0	22.8	10.0	3.0	2.5	0.5
4半旬	58	5.2	0	1.7	7	1.8	0	8.8	0	4.8	15.0	1.3
5半旬	5	5.7	0	1.2	5	1.1	1.3	1.8	0	1.7	0	0.8
6半旬	8	9.4	6	2.4	14	4.9	2.5	5.8	0	0.5	0	1.5
初発期	6月2日	6月10日	6月6日	6月13日	5月27日	6月12日	5月25日	6月6日	6月8日	6月15日	5月26日	6月10日
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるアカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の畦畔すくい取り数(20回振り)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬			
		本年	前年			本年	前年		
空知	本所	6	0.5	0.7	日高	西部	2	0	1.0
	南東部	2	0.5	2.0		渡島	本所	1	0
	南西部	3	1.3	0.3	檜山	本所	2	1.0	0
	中空知	4	1.3	0.3		北部	2	0	0
	北空知	7	0.9	0.4	上川	本所	7	0	0.4
石狩	本所	3	0	1.7		富良野	3	0.3	1.0
	北部	7	0.3	0		大雪	4	0.8	3.8
後志	本所	4	0	0		士別	3	1.0	4.0
胆振	東胆振	4	0.5	0	名寄	3	0	0	
									留萌
					南留萌	2	0	0	

5. フタオビコヤガ(第1回) 発生量 並

予察田において、第1回幼虫の発生量は長沼町で平年並であった。比布町及び北斗市では幼虫の発生が認められなかった。被害株率は長沼町でやや高かった。

予察田におけるフタオビコヤガの発生状況

月・半旬	幼虫数(25株あたり)						被害株率(%)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3半旬	1	0.6	0	0.2	0	0	4.0	0	0	0	0	0
4半旬	1	0.6	0	0.3	0	0	12.0	2.7	0	0	0	0
5半旬	0	0.4	0	0	0	0	20.0	8.0	0	0	0	0
6半旬	0	0.6	0	0.2	0	0	20.0	11.3	0	1.1	0	0.8
平年数	10		10		10		3		8		8	

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生量 並

予察ほの「きたほなみ」での発生量は、長沼町では平年より多く、芽室町では平年並、訓子府町ではやや少なかった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、6月3半旬時点では後志、留萌及びオホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	4.43	2.77	26.21	10.72	40.40	24.04	10
		最上位葉	0.09	0.37	4.48	4.34	40.40	15.42	
		最上-1葉	1.38	2.17	28.10	11.74	-	31.56	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.08	0.40	3.57	1.31	6.55	6.53	10
		最上位葉	0	0.00	0.64	0.32	6.34	4.73	
		最上-1葉	0.01	0.16	3.25	0.95	6.58	6.87	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.01	0.05	0.16	0.33	0.82	3.24	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.05	0.23	1.10	
		最上-1葉	0	0.02	0.03	0.24	0.58	2.66	

注)一:調査不能

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	5	-	-	留萌	本所	4	22.0	0	
	南東部	2	-	-		網走	本所	8	0	0.5
	南西部	4	-	-			清里	6	16.7	0.7
	北空知	2	-	3.0			網走	2	0	0
石狩	本所	3	0	0	美幌		5	0	0	
	北部	6	0	0	遠軽	3	16.7	0		
後志	本所	3	0.7	0.3	紋別	2	0	0		
胆振	本所	3	-	0	十勝	本所	7	-	0	
	東胆振	3	-	-		東部	6	-	-	
檜山	本所	2	-	-		東北部	5	-	0	
	北部	2	-	-		北部	3	-	-	
上川	本所	4	0	-		西部	3	-	-	
	富良野	3	-	-	南部	7	-	0		
	大雪	3	0	2.7						
	士別	4	-	-						
	名寄	3	0	0						

注1)一:調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2)病葉率:最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

2. うどんこ病 発生量 少

予察ほの「きたほなみ」での発生量は、芽室町では平年並、長沼町及び訓子府町では平年より少なかった。一般ほにおける6月3半旬の巡回調査報告によると、いずれの地点とも発生が認められていない。

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.01	0.25	0.00	0.29	0	0.29	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.01	0	0.08	
		最上-1葉	0	0.07	0	0.12	-	0.22	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.25	0.02	0.24	0.03	0	0.01	10
		最上位葉	0.00	0.00	0.03	0.00	0	0	
		最上-1葉	0.01	0.00	0.06	0.01	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0	0.04	0	0.17	0	0.39	10
		最上位葉	0	0	0	0.00	0	0.03	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.04	0	0.13	

注) - : 調査不能

一般ほにおけるうどんこ病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	5	-	-	留萌	本所	4	0	0	
	南東部	2	-	-		網走	本所	8	0	0.4
	南西部	4	-	-			清里	6	0	0
	北空知	2	-	0			網走	2	0	0
石狩	本所	3	0	0	美幌		5	0	0	
	北部	6	0	0	遠軽	3	0	0		
後志	本所	3	0	0.3	紋別	2	0	0		
胆振	本所	3	-	0	十勝	本所	7	-	0	
	東胆振	3	-	-		東部	6	-	-	
檜山	本所	2	-	-		東北部	5	-	0	
	北部	2	-	-		北部	3	-	-	
上川	本所	4	0	-	西部	3	-	-		
	富良野	3	-	-	南部	7	-	0		
	大雪	3	0	0						
	士別	4	-	-						
	名寄	3	0	0						

注1) - : 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

3. アブラムシ類 発生期 やや早 発生量 やや少

予察ほにおけるムギヒゲナガアブラムシの初発期は、訓子府町で平年よりやや早く、長沼町では平年並であった。ムギクビレアブラムシの初発期は、長沼町で平年より早く、訓子府町では平年よりやや早かった。

ムギヒゲナガアブラムシの発生量は、長沼町及び訓子府町で平年より少なかった。ムギクビレアブラムシの発生量は、訓子府町で平年並、長沼町では平年よりやや少なかった。

予察ほの秋まき小麦におけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ムギヒゲナガアブラムシ				ムギクビレアブラムシ			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	-	0	0	0	-
2半旬	0	1.4	0	0.4	0	0.1	0	13.0
3半旬	0	0.9	7	5.6	0	0.1	18	8.0
4半旬	1.0	2.1	1	4.7	1.5	0.8	0	4.3
5半旬	0.5	2.2	0	11.7	0	0.5	18	5.3
6半旬	2.0	3.8	2	11.1	0	3.5	1	11.7
初発期	6.IV	6.IV	6.III	6.IV	6.IV	6.VI	6.III	6.IV
平年数	10		9		10		9	

注) 25穂あたりの寄生虫数

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ 発生量 やや多

予察ほにおける成虫すくい取り数は、比布町で平年より多く、長沼町では平年並だった。

予察ほの春まき小麦におけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	70.0	69.2	245	220.6
2半旬	31.3	53.7	925	363.0
3半旬	30.0	43.2	230	178.3
4半旬	13.8	11.8	20	65.0
5半旬	7.5	8.7	20	30.6
6半旬	2.5	5.3	10	31.7
平年数	10		10	

注) 20回振り×5日分換算値

D. とうもろこし

1. オオタバコガ 発生期 遅 発生量 並

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺は、比布町で6月13日に認められた。長沼町(平年:6月13日)、北斗市(平年:6月1日)、芽室町及び訓子府町では誘殺が認められなかった。比布町の誘殺数は平年より多かった。

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0.3	2	0.1	0	0	0	0	0	0
4半旬	0	0.8	0	0.1	0	0	0	0	0	0
5半旬	0	0.6	1	0	0	0	0	0	0	0
6半旬	0	0.2	0	0	0	0.4	0	0	0	0
初発期	-	6月13日	6月13日	-	-	6月1日	-	-	-	-
平年数	10		10		8		8		8	

E. 豆類

1. タネバエ (大豆) 発生量 やや多

予察ほの大豆における被害個体率は、芽室町で平年より高く、長沼町及び訓子府町では平年並であった。

予察ほにおけるタネバエの被害状況(%)

	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
被害個体率	59.8	51.6	36.7	8.5	14.0	14.2
健全個体率	38.1	41.4	63.3	85.9	80.0	78.4
他不出芽	2.0	7.0	0	5.7	6.0	7.4
平年数	10		9		10	

注) 他不出芽: タネバエ被害以外の不出芽を示す

2. ジャガイモヒゲナガアブラムシ(大豆) 発生期 早 発生量 やや少

黄色水盤におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの初発期は、長沼町及び訓子府町で平年より早かった。芽室町では誘殺を認めていない。

黄色水盤による捕獲数は、訓子府町で平年並、長沼町では平年よりやや少なかった。

予察ほの大豆における寄生虫数は、訓子府町で平年並、長沼町で平年よりやや少なかった。芽室町では寄生が認められなかった。

黄色水盤によるジャガイモヒゲナガアブラムシの誘殺数と初発期

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	1.1	0	0	0	1.7
2半旬	3	3.4	0	0.7	1	4.0
3半旬	2	1.8	0	0.1	3	1.1
4半旬	0	2.3	0	0	0	0.1
5半旬	0	1.8	0	0.2	3	0.4
6半旬	1	0.8	0	0	3.3	0.8
初発期	5.IV	6.I	-	6.III	5.V	6.II
平年数	10		10		10	

予察ほの大豆におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生状況

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.0	-	0	3	0.2
2半旬	2	2.2	0	0.4	6	3.7
3半旬	2	3.5	0	0	0	3.9
4半旬	1	5.8	0	2.2	3	2.3
5半旬	3	6.0	0	1.4	5	2.6
6半旬	1	2.6	0	1.8	0	1.9
平年数	10		10		9	

注1) 25株2小葉(計50小葉)あたりの寄生虫数

注2)-: 調査不能

3. マメアブラムシ(小豆) 発生期 やや早 発生量 並

予察ほにおける初発期は、訓子府町で平年より早く、長沼町で平年よりやや早く、芽室町では平年並であった。

寄生株率は訓子府町で平年よりやや高く、長沼町及び芽室町では平年よりやや低かった。

予察ほの小豆におけるマメアブラムシ寄生株率(%)

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	0	0	0	0.2	0	0
3半旬	0	2.4	0	0.3	0	0.5
4半旬	4	11.9	0	2.3	4	0.4
5半旬	12	18.2	8	6.7	4	0.9
6半旬	4	13.1	4	18.7	8	4.4
初発期	6.IV	6.V	6.V	6.V	6.IV	6.VI
平年数	9		10		9	

注)-:調査不能

F. ばれいしょ

1. 疫病 発生期 — <6月26日付け注意報第2号>

予察ほの「とうや」における初発期は、北斗市では平年より早く、長沼町と芽室町では平年並であった。訓子府町では発生を認めていない。

一般ほにおける巡回調査の報告では、檜山地方で発生が認められている。

予察ほにおける疫病的初発期

地点	品種名	本年	平年	平年数
長沼町	とうや	7月14日	7月15日	6
	スノーマーチ	未発生	7月21日	8
北斗市	とうや	6月27日	7月7日	10
芽室町	とうや	7月13日	7月12日	9
	スノーマーチ	7月12日	7月14日	9
訓子府町	とうや	未発生	7月13日	7
	スノーマーチ	未発生	7月16日	7

一般ほにおける疫病的巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	南東部	1	0	0	網走	本所	8	0	0
後志	本所	4	0	0		清里	6	0	0
胆振	本所	2	0	0		網走	2	0	0
渡島	本所	1	0	0		美幌	2	0	0
檜山	本所	2	11.5	6.5	十勝	本所	5	0	0
	北部	2	0	0		東部	6	0	0
上川	富良野	3	0	0		東北部	1	0	3.5
	大雪	3	0	0		北部	3	0	0
	士別	1	0	0		西部	2	0	0
	名寄	1	0	0	南部	3	0	0	
					釧路	本所	2	0	0
					根室	北根室	1	0	0

2. アブラムシ類 発生量 並

予察ほにおけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生量は、訓子府町で平年より多く、芽室町で平年並、長沼町では平年よりやや少なかった。モモアカアブラムシは長沼町で発生が認められた。ワタアブラムシの発生量は、長沼町及び訓子府町で平年並であった。

6月6半旬の巡回調査では、全65地点中10地点で寄生が認められた。

予察ほにおけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ジャガイモヒゲナガアブラムシ						モモアカアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0.4	0.3	0	0.1	1	0.5	0.8	0.1	0	0	0	0
3半旬	0.8	1.5	0	0.2	0.5	0.3	0.4	0	0	0	0	0
4半旬	1.2	1.5	0	0	0.5	0.4	0.4	0	0	0	0	0
5半旬	0.4	1.0	0.5	0.3	7.5	1.4	0.4	0.3	0	0	0	0
6半旬	0	1.2	1	1.0	8	2.2	0	0.3	0	0	0	0.3
平年数	10		10		10		10		10		10	

月・半旬	ワタアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0.2	0	0	0	0
4半旬	0	0.3	0	0.1	1	0.5
5半旬	0.4	1.0	0	0.4	1.5	0.1
6半旬	4.8	2.5	0	0.3	1.5	2.8
平年数	10		10		10	

注) 20株各2複葉、合計40複葉を調査。虫数は10株20複葉あたり換算虫数。品種は「スノーマーチ」

巡回調査によるばれいしょのアブラムシ類寄生虫数

普及センター	地点数	6月3半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知 南東部	1	0	0	0	0
後志 本所	4	0	0	0	0
胆振 本所	2	0	0	0.5	6.5
渡島 本所	1	0	0	0	0
檜山	本所	2	0	0	0
	北部	2	1.0	0	1.0
上川	富良野	3	0	0	0
	大雪	3	0	0	0.3
	士別	1	0	0	0
	名寄	1	0	0	1.0
網走	本所	8	0.4	0	2.4
	清里	6	0	0	0.2
	網走	2	0	0	0.5
	美幌	2	0	0	0
十勝	本所	5	0.6	0	0.2
	東部	6	0.2	0.2	0
	東北部	1	2.0	0	0
	北部	3	0	0	0
	西部	2	0	0	0
	南部	7	2.0	33.3	0
釧路 本所	2	0	0	0	0
根室 北根室	1	0	0	0	1.0

注) 10株20複葉調査

G. てんさい

1. 褐斑病 発生期 早

予察ほの抵抗性“やや強”品種「ライエン」における初発期は、長沼町、芽室町及び訓子府町とも平年より早かった。

予察ほにおける褐斑病の発生状況

地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	あまいぶき(弱)	7月7日	7月7日	10
	ライエン(やや強)	7月3日	7月9日	8
芽室町	あまいぶき(弱)	6月27日	7月6日	9
	ライエン(やや強)	6月27日	7月5日	8
	スタウト(強)	6月27日	7月9日	9
訓子府町	ライエン(やや強)	7月4日	7月11日	10

2. ヨトウガ(第1回) 発生期 並 発生量 やや多

予察ほにおける産卵の初発期は、訓子府町で平年より早く、長沼町及び芽室町では平年より遅かった。

食害程度は、芽室町及び訓子府町では平年並、長沼町では平年より低かった。

巡回調査では全78地点中、上川地方、オホーツク地方及び十勝地方の計5地点で要防除水準(被害株率50%)を超える発生が認められた。

予察ほにおけるヨトウガの卵塊数および食害程度

月・半旬	卵塊数(50株あたり)						食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.8	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	1.7	0	0.9	0	0	0	0.2	0	0	0	0
3半旬	0	2.9	0	1.6	1	0	0	0.6	0	0.1	0	0
4半旬	0.5	2.7	0	1.6	0	0.7	0	2.4	0.5	0.5	0	0
5半旬	0	1.6	1	0.9	0	0.1	0	7.3	3.5	3.3	0	0.3
6半旬	0	0.8	0	0.3	0	0.3	3	14.9	6	7.9	2	1.6
初発期	6.IV	6.II	6.V	6.II	6.III	6.V						
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及 センター	地点 数	6月6半旬		普及 センター	地点 数	6月6半旬		
		本年	前年			本年	前年	
空知	南東部	1	0	網走	本所	9	5.9	
	石狩	3	10.0		清里	6	22.0	
	後志	3	2.0		網走	2	12.0	
	胆振	本所	4		6.0	美幌	5	4.2
		東胆振	3		8.0	遠軽	3	6.3
上川	富良野	3	0	十勝	本所	7	13.7	
	大雪	3	0		東部	6	1.3	
	士別	1	19.0		東北部	4	20.3	
	名寄	2	56.0		北部	3	0.7	
			西部		3	8.3		
			南部	7	13.9			

注)50株調査

3. テンサイトビハムシ **発生量 やや多**

予察ほにおける食害程度は、芽室町で平年より高く、長沼町及び訓子府町では平年並であった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシの食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	31	29.2	23	12.2	25	22.3
2半旬	30	29.7	23	11.3	25	24.3
平年数	10		10		9	

H. たまねぎ

1. 白斑葉枯病 **発生期 並 発生量 やや少**

予察ほにおける初発期は、長沼町では平年よりやや早く、訓子府町では平年よりやや遅かった。6月6半旬における発生量は、長沼町では平年並、訓子府町では平年より少なかった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、オホーツク地方及び十勝地方で発生が認められている。

予察ほにおける白斑葉枯病の発生状況

地点	品種名	初発期		発病度						平年数
				6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	北もみじ2000	6月13日	6月16日	0	0	7.0	8.2	23.5	21.3	10
訓子府町	北もみじ2000	7月1日	6月26日	0	0	0	0.2	0	2.7	10

一般ほにおける白斑葉枯病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	5	0	0	網走	本所	8	0	0
	南東部	3	0	0		清里	2	0	0
	南西部	3	0	0		美幌	4	0	0
	中空知	1	0	0		遠軽	1	10.0	0
石狩	北部	2	0	0	十勝	本所	3	0	0
上川	富良野	4	0	0		東部	2	3.0	1.0
	大雪	1	0	0					
	士別	1	0	0					

2. ネギアザミウマ **発生期 やや早 発生量 やや多**

予察ほにおける成虫及び幼虫の初発期は、訓子府町で平年より早く、長沼町では平年並であった。被害の初発期は、訓子府町で平年より早く、長沼町では平年よりやや早かった。

寄生成虫数及び幼虫数は、訓子府町では平年より多く、長沼町では平年より少なかった。被害程度は、訓子府町で平年より高く、長沼町では平年よりやや低かった。

巡回調査では、寄生株率 50%以上の地点は全 40 地点中、空知地方、上川地方、オホーツク地方及び十勝地方の計 9 地点であった。

予察ほにおけるネギアザミウマの発生状況

月・半旬	成虫数(25株あたり)				幼虫数(25株あたり)				被害程度			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0.3	3.5	10	16.7	0	0.1	5	0	0.3	1.7	17	5.3
2半旬	1.5	6.7	24	21.2	0	1.8	2	4.2	1.8	5.1	27	7.7
3半旬	3.3	15.7	51	44.6	0.5	11.8	70	25.1	4	10.8	41	13.2
4半旬	7	19.8	81	43.4	4.5	70.7	532	168.5	7	17.1	55	27.9
5半旬	7	25.3	85	37.1	13	203.5	1342	379.0	9	22.6	75	38.3
6半旬	11	44.2	91	40.8	10	245.0	1118	744.5	20	27.9	89	48.2
初発期	6. I	6. I	5. V	6. I	6. III	6. III	6. I	6. IV	6. I	6. II	5. V	6. I
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるたまねぎのネギアザミウマ寄生株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬			
		本年	前年			本年	前年		
空知	本所	5	57.6	49.6	上川	富良野	4	21.5	11.0
	南東部	3	45.7	44.3		大雪	1	15.0	10.0
	南西部	3	28.0	60.0		士別	1	51.0	0
	中空知	1	32.0	0		網走	本所	8	16.5
石狩	北部	2	0	0	清里		2	80.0	22.0
					美幌		4	5.0	7.3
					遠軽		1	23.0	26.0
十勝	本所	3	27.7	43.3	東部	2	49.0	34.0	

注) 25株調査

I. あぶらな科野菜

1. モンシロチョウ 発生量 並

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、北斗市で平年よりやや多く、長沼町では平年より少なかった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	4.1	12.0	13.4
2半旬	2	8.5	8.8	13.5
3半旬	4	13.2	16.4	14.6
4半旬	5	14.1	11.2	12.5
5半旬	4	8.7	16.4	10.3
6半旬	15	5.6	33.6	8.9
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

2. コナガ 発生量 やや多

< 5月15日付け注意報第1号 >

フェロモントラップによる誘殺数は、長沼町及び比布町で平年より多く、北斗市及び訓子府町で平年並、芽室町では平年より少なかった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町及び北斗市で平年より多かった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	24	16.5	55	25.5	22	29.4	6	9.2	14	6.1
2半旬	52	11.8	82	29.4	19	22.6	2	4.7	8	5.1
3半旬	27	28.7	78	16.5	38	24.9	0	5.0	2.5	6.0
4半旬	61	21.3	37	17.1	30	25.1	0	3.1	2.5	4.7
5半旬	64	27.4	13	14.7	20	19.1	4	2.7	1	4.2
6半旬	37	36.7	18	15.7	31	31.4	3	2.9	1.5	3.6
平年数	10		8		10		10		10	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺、比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	3.9	8.8	1.0
2半旬	1	7.8	8.8	3.9
3半旬	22	12.4	13.6	9.5
4半旬	30	25.5	10.0	15.9
5半旬	150	41.7	41.6	27.6
6半旬	259	107.3	56.4	21.0
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

J. りんご

1. モニリア病 発生量 少

長沼町の予察園（無防除）「相伝ふじ」（早生ふじ系）及び余市町の予察園（慣行防除）「昂林」では、モニリア病の発生は認められなかった。

一般園における巡回調査の報告によると本病の発生は認められていない。

予察園(長沼町)におけるモニリア病の発生状況

品種名	相伝ふじ			
	実腐花葉叢率(%)		株腐花葉叢率(%)	
	本年	平年	本年	平年
落花10日後	0	—		
落花20日後			0	—

調査年数が少ないため、平年値なし。

予察園(余市町)におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	調査時期	葉腐花葉叢率(%)	
			本年	平年
余市町	昂林	6月1週目	0	—
		6月2週目	0	—
		6月3週目	0	—

注1) 予察園(余市町)は慣行の防除を実施している。

注2) 調査年数が少ないため、平年値なし。

2. 黒星病 発生期 並 発生量 やや多

長沼町の予察園（無防除）「相伝ふじ」における初発期は平年並であった。余市町の予察園（慣行防除）「昂林」では発生を認めていない。

発生量は、長沼町の予察園では平年よりやや多かった。

一般園における巡回調査の報告では発生が認められていない。

予察園(長沼町)における黒星病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	5月29日	5月28日	6
余市町	昂林	未発生	-	-

予察園(長沼町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)											
		6月1半旬		6月2半旬		6月3半旬		6月4半旬		6月5半旬		6月6半旬	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	相伝ふじ	5.6	6.3	27.4	12.6	58.0	21.1	54.9	29.4	66.7	37.4	74.0	45.7

予察園(余市町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)									
		6月1週目		6月2週目		6月3週目		6月4週目		6月5週目	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
余市町	昂林	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

注1) 余市町の予察園は慣行防除

注2) 調査品種変更に伴い平年値なし

一般園における黒星病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

3. 斑点落葉病 発生期 やや早 発生量 並

長沼町の予察園（無防除）の「王林」における初発期は、平年よりやや早かった。発生量は平年並であった。余市町の予察園（慣行防除）の「昂林」では発生を認めていない。

予察園(長沼町)における斑点落葉病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	王林	6月20日	6月25日	10

予察園(長沼町)における斑点落葉病の発生状況

地点	品種名	新梢病葉率(%)						平年数
		6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林	0	0	0.85	0.51	1.16	0.72	10

4. ハマキムシ類 発定期 並 発生量 並

予察園のフェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの初誘殺日は、余市町A（慣行防除）で平年より早く、余市町B（慣行防除）で平年よりやや早く、長沼町（無防除）では平年よりやや遅かった。リンゴモンハマキの初誘殺日は、長沼町及び余市町Aで平年並であった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は、リンゴコカクモンハマキは余市町Aで平年並、長沼町及び余市町Bでは平年よりやや少なかった。リンゴモンハマキは長沼町及び余市町Aで平年並、余市町Bでは平年より多かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、リンゴコカクモンハマキは札幌市、石狩市、壮瞥町及び増毛町で平年より少なかった。七飯町では誘殺が認められなかった。リンゴモンハマキは増毛町で平年より多く、札幌市及び壮瞥町で平年並、七飯町では平年より少なかった。石狩市では誘殺が認められなかった。

予察園におけるハマキムシ類のフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	リンゴコカクモンハマキ						リンゴモンハマキ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.5	0	0.3
2半旬	0	1.4	1.1	0.2	0	0.2	0	0	8.0	1.9	10.3	1.5
3半旬	0	5.1	1.1	0.7	0.3	0.9	1	0.7	6.6	3.0	8.3	3.2
4半旬	10	17.4	0.7	1.7	0.7	1.0	6	2.0	1.4	5.9	1.4	2.1
5半旬	12	15.7	0.7	1.7	0.6	1.5	9	9.7	0.7	2.1	0.6	1.3
6半旬	4	8.7	0.3	0.8	0.4	1.1	3	6.7	0.7	0.4	0.7	0.7
初誘殺日	6月19日	6月15日	6月9日	6月18日	6月19日	6月23日	6月15日	6月17日	6月6日	6月8日	6月6日	-
平年数	10		10		10		3		3		3	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年								
6月1半旬	-	0.0	-	0	-	0	0	0.1	0	0
2半旬	0.9	0.4	0	0.1	-	0	0	0.0	0	0.4
3半旬	1.5	2.1	0	0.3	0.1	0.5	0	0.2	1.1	1.6
4半旬	1.7	4.9	0	0.5	0.7	1.0	0	3.0	0.9	2.0
5半旬	0	5.1	0	0.6	0.1	2.1	0	2.4	0	1.9
6半旬	0	4.8	0.2	0.8	0	1.2	0	2.8	0	2.7
平年数	10		10		10		10		10	

一般園におけるリンゴモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年								
6月1半旬	-	0	-	0	-	-	0	-	0.3	0
2半旬	0	0	0	0	-	0.7	0	0.0	1.4	0
3半旬	0	0	0	0	1.6	1.0	0	0.2	5.4	0.1
4半旬	0	0	0	0	2.1	0.5	0	1.1	4.1	0.3
5半旬	0	0	0	0.3	0.4	1.2	0	0.8	0.6	0.3
6半旬	0.5	1.3	0	0	0	0.3	0.9	1.2	0.1	0
平年数	3		3		3		3		3	

5. モモシンクイガ 発定期 やや早 発生量 やや多

予察園のフェロモントラップによる初誘殺日は、長沼町（無防除）で平年よりやや早く、余市町A及び余市町B（ともに慣行防除）で平年並であった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は長沼町及び余市町Bで平年より多く、余市町Aでは平年並であった。

長沼町における産卵初発期は6月26日（平年：7月2日）と平年より早かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、札幌市、壮瞥町及び七飯町で平年よりやや多かった。

予察園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0.1
2半旬	0	0	0	0.3	0	0.4
3半旬	5	1.8	0.9	0.8	5.7	1.5
4半旬	5	3.7	2.1	2.6	14.3	5.5
5半旬	35	7.8	1.4	4.1	26.9	7.4
6半旬	108	15.6	11.7	5.6	31.5	14.5
初誘殺日	6月13日	6月17日	6月15日	6月16日	6月13日	6月12日
平年数	10		10		10	

一般園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		壮瞥町		七飯町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	-	0.0	-	0	0	0
2半旬	0.9	0.1	-	0.0	0	0.0
3半旬	1.1	0.2	0	0.3	0	0.2
4半旬	0	1.1	0	0.5	0	0.1
5半旬	4.2	3.1	2.3	1.4	0.7	0.4
6半旬	19.3	9.2	4.2	2.7	2.0	0.7
平年数	10		10		10	

6. ハダニ類 発生量 少

リンゴハダニ及びナミハダニの発生は、長沼町（無防除）、余市町A及び余市町B（ともに慣行防除）のいずれの地点においても認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0
2半旬	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4半旬	0	0.1	0	0	0	0	0	0.2	0	0.2	0	3.2
5半旬	0	0.5	-	0	-	0	0	0	-	0.7	-	2.3
6半旬	0	0.3	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0	1.8
平年数	10		10		10		10		10		10	

注) 30葉あたりの寄生数。余市町A、Bの予察園は慣行防除。

7. キンモンホソガ 発生量 少

予察園におけるフェロモントラップ誘殺数は、長沼町（無防除）、余市町A及び余市町B（ともに慣行防除）で平年より少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、増毛町で平年よりやや多く、石狩市で平年よりやや少なく、壮瞥町及び七飯町では平年より少なかった。札幌市では誘殺が認められていない。

予察園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.5	0	0.3	0	0.4
2半旬	0	0.2	0	0.3	0	0.5
3半旬	0	0.3	0	1.7	2	1.6
4半旬	0	0.7	0	5.8	5	15.5
5半旬	3	3.8	5	10.9	1.9	26.3
6半旬	0	3.2	19.6	21.0	3.5	32.4
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.0	0.2	0.1	-	0.2	0	1.8	0	1.6
2半旬	0	0.2	0.8	0.1	-	0.1	0	0.3	0	0.2
3半旬	0	0.4	0	0	0.1	0.6	0.6	0.2	6.9	0.1
4半旬	0	0.6	0	0	0.7	3.3	1.4	2.0	24.1	5.6
5半旬	0	0.7	0	4.1	0.1	21.5	0	3.7	47.5	57.2
6半旬	0	0.5	1.2	7.1	0	31.7	0.4	15.9	162.8	90.8
平年数	10		9		10		10		10	

令和5年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動**実施期間です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。

周りに配慮して 飛散を防止

守ろう
農薬ラベル
確かめよう
周囲の状況

周囲の状況を踏まえて
使う農薬や使い方を考えよう

周りに影響が少ない
天候や時間帯に行おう

散布機器の機能や性能を
理解し、正しく使おう

十分な時間の余裕をもって
幅広く周知しよう

農薬散布のお知らせ
〇〇年〇月〇日 〇時～〇時
場所〇〇〇〇 目的〇〇〇〇
農薬名〇〇〇 連絡先〇〇〇

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/ 農薬の適正使用 農林水産省 検索

詳しくは
<こちら

令和5年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)
北海道病害虫防除所
(TEL 0123-89-2080)
各総合振興局・振興局農務課